

いかにしてもう一度立ち上がるか - これからの 100 年を見据えて -

## 第4回東日本大震災 国際神学シンポジウム 神戸

東日本大震災から5周年となる2016年、フラー神学大学院と共に、第4回国際神学シンポジウムを開催します。

震災後の支援活動の中、親しみをもって、「キリストさん」と呼ばれることがありました。日本人の99%の方々にとっては、わたしたちキリスト者は教派教団を越えて「キリストさん」であるということ、教会外からの視点を念頭に置きつつ、宣教、支援、社会への関わり、教会形成を考える必要があります。大震災を通して私たちはさまざまな壁を越えて共に働くことを学んできました。これは震災を経験した日本の教会から、世界のキリスト教会に対しての貢献でもあります。

阪神淡路大震災から21年を経た神戸において、再度、宣教のこの重要な課題に取り組むことを通して、次の働きを担う世代が生まれてくるのではないのでしょうか。ぜひ、ご出席ください。

Being Called “Kirisuto-san”-Re-Visiting Christian Identity in Post-Disaster Japan

キリストさんと呼ばれて - この時代、この地でキリスト者であること -

# 2016年 2月 26日(金) 14:00-17:00

## 場所：青谷福音ルーテル教会 (神戸市中央区中島通2-3-6)

＜「三宮」または「阪急六甲」から神戸市バス2系統で10分、青谷下車、西へ徒歩1分＞

**参加費** 1000円 (学生：500円)

**通訳**

藤原淳賀 (青山学院大学)

**主題講演** ウィルバート・シェンク Wilbert Shenk

(フラー神学大学院異文化学研究科 宣教と現代文化学主任教授)

ゴシェン大学(B.A.)、オレゴン大学大学院(M.A.)、アバディーン大学大学院(Ph.D.)で学ぶ。メノナイト・ボード・オブ・ミッション・海外ミニストリー部部長、アソシエイティッド・メノナイト・ビブルカル神学大学院宣教学助教授、ミッション・トレーニング・センター長等を経て、現職。著書多数。

**応答**

吉田 隆  
(神戸改革派神学校)

岩上祝仁  
(インマヌエル神戸教会)

**お問い合わせ**

神戸ルーテル神学校 (office@koluthse.jp) 〒651-0052 神戸市中央区中島通2-3-5

主催：OCC・災害救援キリスト者連絡会(DRCnet)、聖学院大学、東京基督教大学

共催：フラー神学校

協賛：神戸ルーテル神学校、関西聖書神学校、福音聖書神学校、大阪聖書学院、神戸神学アナログア委員会

後援：関西ミッション・リサーチセンター、日本福音主義神学会西部部会、神戸援助協力アナログア委員会、神戸改革派神学校